

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー機関誌

2016年9月号

発行編集人

公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー  
代表理事 小久保 正

発行所

日本クリスチャン・アカデミー  
京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
075 (711) 2147

# はなしあい

題字 元総理 片山哲 筆

NIPPON CHRISTIAN ACADEMY

第577号

数年前に『キリスト教は戦争好きか』(朝日選書)という本を出したことがあった。タイトルに違和感を覚えつつ、出版社の意向に沿うように決めたものだった。中身は戦争だけでなく、神、「いのち」や貧困問題なども取り上げ、キリスト教的なものの考え方を論じたものだった。ただそのときにあらためて痛感したのは、こういうタイトルは人びとの関心を引くものだということ。いや、日本人ばかりではない。多くはないがドイツ人やイギリス人と話をしたときも、同様の反応が返ってきた。どうやら、沢山の人が、キリスト教に興味をもち、キリスト教はなにかしら戦争と親和性があると考えているのである。

ところで、小学校一年生の頃のことを思い出す。通いはじめた教会学校で、戦災に苦しむビアフラの子どもたちのためにお金を集めるというので、一円玉やら十円玉など、なげなしのお小遣いを募金箱に入れたことを思い出す。私が学んだキリスト教は、そのはじめに平和への祈願があったのを覚えている。

ところが大学で神学を学び、キリスト教を勉強するに従って、どうやらキリスト教は全く非戦・反戦主義ということでもないようだということも分かってきた。十字軍のことは、すでに食傷気味となるほど聞かされてきたが、それだけでなく、歴史上、また現代でもさまざまな問題がある。

イエスは突き抜けた意味で絶対的平和主義者だったと思うが、しかし、そもそもイエスはなにかしら政治判断を下すような人物であったのかどうか、よく考えてみなければならない。戦争が政治の問題である以上、キリスト教の政治性というのはひとつのテーマとなろう。

結局のところ、キリスト教

世紀のベルナルドウスなど本当に神への愛を論じつつ、十字軍を唱道した思想家である。しかしそれは個別の問題であって、キリスト教全般の問題とは言えないだろう。あるいは日頃の説教で他者への愛を説きつつ、戦争を煽る牧師がいたとしたら、どうだろうか。しかし、そのような矛盾はどこまで宗教そのものの問題となるのだろうか。

否、まだまだこの問題について私の理解は十分ではないのだろう。もっと根深く、奥深い問題のように思う。何度か論じてきたし、本も読んできたが、未だに充足感を得られないままである。この際この問題の深いところまで掘り下げて、理解する努力をしてみたい、そんな思いから、戦争をテーマにしたプログラムを実施したいと思うようになった。まずは旧約や新約について専門家の意見を仰ぎつつ、じっくり問題を考えてみたい。昨今の状況はますます予断を許さなくなっているが、こういう時代だからこそ、あらためてこの問題に向き合う必要を感じている。

## 「キリスト教と戦争」という問い

財団理事・関西セミナーハウス活動センター運営委員

土井 健司



(関西学院大学神学部教授)

関東活動センター

●2016年度 関東フォーラム 今日の課題 共催プログラム  
「熊本地震支援報告会」熊本の、今  
現状、今後の課題、必要な支援とは

2016年8月2日(火)  
会場 日本キリスト教会館6階  
共催 日本YMCA同盟 Church World Service Japan



国内外で多発する災害や紛争は、ニュース報道の減少に伴い「過去」になっていく。熊本地震についても同様で、首都圏では夏の参院選や都知事選等の選挙報道の陰で、被災地の状況は関心が薄れ、被災者の現実には語られず、置き去りにされていく。報告会には、そのことへの懸念が背景にあった。

この熊本地震支援報告会には、「熊本地震支援の現状と課題を共有する」、「キリスト教関係団体のエキユメニカルな支援や協働の在り方について考える」、「教会やキリスト教コミュニティへの継続的な支援をアピールする」の3点を主眼に、4人の報告者から現場経験に基づく学びや気づきの分かち合いを意図した。各テーマと要点は、以下の通りである。

第1報告…「熊本地震と熊本YMCAによる支援報告概要」(日本YMCA同盟 光永尚生氏)

熊本地震の特徴、熊本YMCAの支援方針、熊本YMCA各拠点の被災状況、益城町総合体育館(熊本YMCA指定管理)の避難所の状況、支援対策の組織図、支援活動の

概要、ボランティア活動の事例、これからの課題などに関する動画とスライドを交えた報告となった。熊本YMCAとYMCA全国協力によるスタッフ・ボランティア・ワイズメンズクラブ(各地域YMCAを支える社会人奉仕団体)の働きについても語られた。

第2報告…「熊本の教会の被災状況と支援」(日本キリスト教団 加藤誠牧師)

地震発生直後に、熊本入りした教団世界宣教幹事の加藤牧師から、熊本及び大分の日本キリスト教団所属の諸教会(計9教会)の被災状況や支援活動についてスライドに基づき報告がなされた。熊本地

区は信徒宅の被害が甚大で、全壊家屋に20万円、半壊家族に10万円の見舞金(計18件)をお渡ししたこと、また大分地区は教会被害が甚大で、建て替えが必要な教会が4つあるとのこと。被災地にある教会と信徒のために祈りを合わせた。

第3報告…「益城町総合体育館の避難所運営からの学び」(日本YMCA同盟 山根一毅氏)

避難所となった同施設の地震発生後の時系列の状況、身体的な課題と対応、緊急時の体制、緊急支援期の益城総合体育館内の組織等について、「教会員や地域の人々の避難を想定」・「日常の地域や教会間での繋がり」・「教会ネットワークをどう活用するか」の3つの視点からの具体的な事例報告があった。また現場経験者をキリスト教使命や日常の官民協働、災害が浮き彫りとした現実とこれからのコミュニティづくりに向けての課題なども語られた。

第4報告…「熊本地震を風化させないために」(Church World Service Japan 小美野剛氏)

災害時に重要なパートナーシップと「協働の原則」、直面する諸課題、風化する災害の記憶、復興に向けた教訓と未来志向の情報発信、加えて国内の災害に留まらぬ世界各地での人道支援や企業との共感パートナーシップ等について、実践事例が紹介された。3つのキーワードは、①《伝える》—現場の「Transition」を人の顔を見せながら伝える。

②《未来に生かす》—教訓を

防災・減災活動に生かす、③《力を増やす》—価値を最大化するパートナーシップ、である。

四者四様の報告は、各人の現場のリアリティに満ち、インパクトのあるものであった。なお、報告後のパネルディスカッションや質疑応答では、報告者が全員男性であったことから、ジェンダー

の課題、女性の視点で災害時の現実を捉え、災害支援の在り方を考えることの重要性が指摘されたことも追記しておきたい。日本クリスチャン

カデミーとしては、通常のセミナーと異なる他団体との共催という形となった。試みとしてそれぞれの団体の個性が合わさり、キリスト教団体のネットワークが生かされたユニークな企画となったことを合わせてご報告したい。

私たちが今できること、それは「忘れないこと」、「祈りを合わせること」、そして「国内外の苦難にある人々と共に生きようとすること」である。そのことは常に私たちに問われている現実であり、神の声は、その現場にある。

(報告 大江 浩)

関西セミナーハウス活動センター

●2016年度「お茶のこころと宗教のこころ」1  
「初夏の茶室とバスで巡るフィールドツアー」(2)  
京都のキリシタン史跡を訪ねて「西ノ京エリア」

日本バプテスト連盟京都洛西教会協力牧師 杉野 榮さん  
2016年6月18日(土)



深緑豊かな初夏の一日、午前中は茶室「清心庵」で茶をいただき、杉野牧師からガイダンスを聞いた。午後バスツアーに出かけ、千本通りから西のエリアに生活したキリシタンたちの足跡をたどった。北野天満宮では、入り口に大きな狛犬がおかれている。一方は角獣で、キリストを表すと考えられる。三光門脇の梅の木の陰に立っている「織部灯笼」は「キリシタン灯笼」とされている。境内西側には秀吉によって築かれた「御土居」の後があるが、その中に



キリシタンの遺物が多く埋められていた。椿寺のキリシタン墓石を見学し、臨濟宗妙心寺の塔中「春光院」は一般公開されていた。特別配慮で拝観できた。そこに南蛮寺の鐘があり、その側面にはイエズス会の紋章とキリスト十字架に使用された3本の釘が刻まれている。また襖の取っ手には十字架の模様が入っていた。

講師の杉野牧師のバプテスト教会に立ち寄り、そこにある多数のキリシタンの遺物を見ることができた。日本に3つしか無いという魔鏡の2つも見ることができた。あと、当時キリシタン医師として活躍した奥深家も見学した。豊かな学びの一日であった。

●2016年度「お茶のこころと宗教のこころ」2  
「聖書をいっしょに読みましょう」(全5回)

座長 日本基督教団牧師 榎本 栄次さん  
2016年6月〜11月第1水曜(8月除く)

本年度6月から、榎本栄次牧師を座長にして「聖書を一緒に読みましょう」という集いを始めている。コリント信徒への手紙1から学んでいる。学んでいるというよりも、参加者がそれぞれに主観を入れて話し合う会である。これまで2回を重ねているが、11月までを一応の区切りとしている。参加者は14、5人である。使徒パウロがコリントの教会にあてた手紙で、教会の矛盾を厳しく指摘している。一生懸命にやることから生じる党派性や分裂である。初めの純粋な思いから離れてキリストの願いからかけ離れてしまうのである。今日の我々にも共通する課題に出会える。立派になる

も見る事ができた。あと、当時はキリシタン医師として活躍した奥深家も見学した。豊かな学びの一日であった。どの交換がある。風薫る ガリラヤの湖もかくありか (F) お茶席や 青梅のお菓子 舌鼓 (A) 梅雨晴れ間 茶席に狸顔を出し (E)



賛助会費・寄付金報告(1)

2016年6月1日〜7月31日 (順不同・敬称略)

◆財団本部

寄付金

日本基督教団早稲田教会 75,000  
武藤 高司 20,000

◆関東活動センター

賛助会費

平井 祐美子 5,000  
島田 治夫 2,500  
古賀 博 5,000  
竹中 百合子 5,000  
吉田 豊 3,000

次ページに続きます。

**プログラム案内**

◆**関東活動センター**

■**聖書講座2016「新しい聖書の学び」**

「いのちの糧の分かち合い」(全9回)

講師：山口里子さん(日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター)

日時：2016年4月～2017年1月(8月除く)第2火曜18:30～20:00  
⑥10月11日、⑦11月8日、⑧12月13日

会場：早稲田奉仕園スコットホール

参加費：1,200円/学生500円

テキスト：『いのちの糧の分かち合い いま、教会の原点から学ぼう』新教出版社

共催：早稲田奉仕園

■**2016関東フォーラム 今日的課題**

「人と出会い、現場と向き合う～飛田雄一さんに聞く、私とキリスト教と多民族・多文化共生～」

講師：飛田雄一さん(神戸学生青年センター館長)

日時：2016年9月5日(火)  
19:00～21:00

会場：日本キリスト教会館1階

参加費：1,000円、学生500円

共催：早稲田奉仕園

■**2016関東フォーラム 今日的課題I**

「いのちを考えるー命の現場とキリスト教ー」(全5回)

第5回「生と死～教会の現場から～」

講師：賀来周一さん(キリスト教カウンセリングセンター理事長)

日時：2016年10月3日(月)

財団本部 <http://www.academy-nippon.com>  
関東活動センター <http://www.academy-tokyo.com>  
関西セミナーハウス <http://www.kansai-seminarhouse.com/>  
関西セミナーハウス活動センター <http://www.academy-kansai.org>

**公益財団法人 日本クリスチャン・アカデミー**  
代表理事 小久保 正  
本部事務局  
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
TEL 075-711-2147  
FAX 075-701-5256  
関東活動センター  
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18  
日本キリスト教会館6F  
TEL 03-3207-6198  
E-mail:info@academy-tokyo.com  
関西セミナーハウス/  
関西セミナーハウス活動センター  
〒606-8134 京都市左京区一乗寺竹ノ内町23  
FAX 075-701-5256  
関西セミナーハウス  
TEL 075-711-2115  
E-mail:info@kansai-seminarhouse.com  
関西セミナーハウス活動センター  
TEL 075-711-2117  
E-mail:office@academy-kansai.org

14:00～16:00  
会場：日本聖書神学校  
参加費：2,000円

■**2016関東フォーラム 今日的課題II**

「古典で読む20世紀第三期」(全4回)  
第4回「歴史意識の<古層>」

ファシリテーター：武田利邦さん(農村伝道神学校講師)

日時：2016年11月11日(金)  
18:30～20:30

会場：日本キリスト教会館6階  
フォークトルーム

参加費：500円

テキスト：丸山真男「歴史意識の『古層』」(『忠誠と叛逆』ちくま学芸文庫)

◆**関西セミナーハウス**

■**月釜 清心会**

日時：2016年10月9日(日)、11月13日(日) 9:00～15:00  
受付(1、8月を除く年10回)

於：関西セミナーハウス  
年会費：5,000円、臨時会費1,000円

■**第4回「修学院きらら山荘 薪能」**

演目：能「羽衣」、狂言「仏師」

出演：林宗一郎、茂山宗彦、茂山逸平他

日時：2016年10月7日(金)  
17:00～18:30(開場16:15)

会場：関西セミナーハウス能舞台  
「豊響殿」

鑑賞料：4,000円(要予約)

定員：100名  
協力：林宗一郎郎の会

◆**関西セミナーハウス活動センター**

■**2016年度お茶のこころと宗教のこころ-2**

「聖書をいっしょに読みましょう」(全5回)

座長：榎本栄次さん(日本基督教団牧師)

日時：2016年6月～11月(8月除く)  
第1水曜13:30～16:00

④10月5日、⑤11月2日

会場：関西セミナーハウス

参加費：1回1,500円学生500円(抹茶込)

定員：10名

■**2016年度開発教育セミナー**

第4回「ヘイトスピーチ・わたし・社会」

講師：安田浩一さん(ジャーナリスト)

日時：2016年10月15日(土)  
16:00～16日(日)12:00

会場：関西セミナーハウス

参加費：10,500円(1泊2食込)

■**2016年度修学院フォーラム「社会」**

第1回「宗教と戦争を考える<1> 旧約聖書における「聖戦」をめぐる」

講師：勝村弘也さん(神戸松蔭女子学院大学名誉教授)

日時：2016年10月8日(土)  
13:30～17:30

会場：関西セミナーハウス

参加費：一般2,300円、学生1,000円

**賛助会費・寄付金報告(2)**

2016年6月1日～7月31日 (順不同・敬称略)		大谷 光真	5,000
		多木 秀雄	5,000
		鳥井 清司	5,000
		竹中 百合子	5,000
		福留 順子	5,000
		晃子 晃子	3,000
		島田 誠一	5,000
		早川 良彌	5,000
		中山 晴美	5,000
		丸山 まり子	5,000
		田中 常雄	5,000
		高橋 壮二	5,000
		井上 勇一	5,000
		小澤 妙子	5,000
		岩崎 裕保	5,000
		<b>寄付金</b>	
		藤井 伸枝	3,000
		山本 良昭	5,000
		NPO法人沢内伯楽	10,000
		川北 かおり	10,000
		鳥井 操	5,000
		西上 壽一	3,000
		柳井 一朗	5,000
		井上 勇一	5,000
		修学院一日アシュラム	5,000
		<b>賛助会費</b>	
		宮田 満雄	3,000
		西脇 光一	5,000
		棟方 信彦	10,000
		柳井 一朗	5,000

以上、感謝をもってご報告申し上げます。